

令和4年(2022年)8月29日(月曜日)

「三島愛」最高87.4%

市民意識調査 自然、町並み評価

三島市はこのほど、2千人を対象に実施した市民意識調査の結果をまとめた。市への愛着率は87.4%で前年

を0.6%^増上回り、調査が始まった2003年比0.9%^増に上り、市民も91.6%^(前年)を超過した。自然環境や美しい町並みを感じる市民が目立った。

居住環境、市の取り組みの満足度、健康など15項目について5月に郵送かインターネットで調査し、1161人(58.1%)が回答した。市の取り組みに対する満足度は「せせらぎと緑や花を生かしたまちづくり」がトップの69.3%(1.5%^増)で、市が進める施策「ガーデンシティみしま」に高い満足度が示された。一方、不満足では歩道が41.1%、三島駅周辺が38.8%と都市基盤の整備に関する項目が上位を占めた。

自治会や町内会への参加率は72%(1.5%^増)に上り、美化活動や地域の情報伝達への参加が増加した。性的少数者の認知度は約6割が言葉、意味ともに理解し、差別や偏見をなくす6項目の取り組みについては全てで前向きな意見が75%以上となった。

(三島支局・金野真仁)